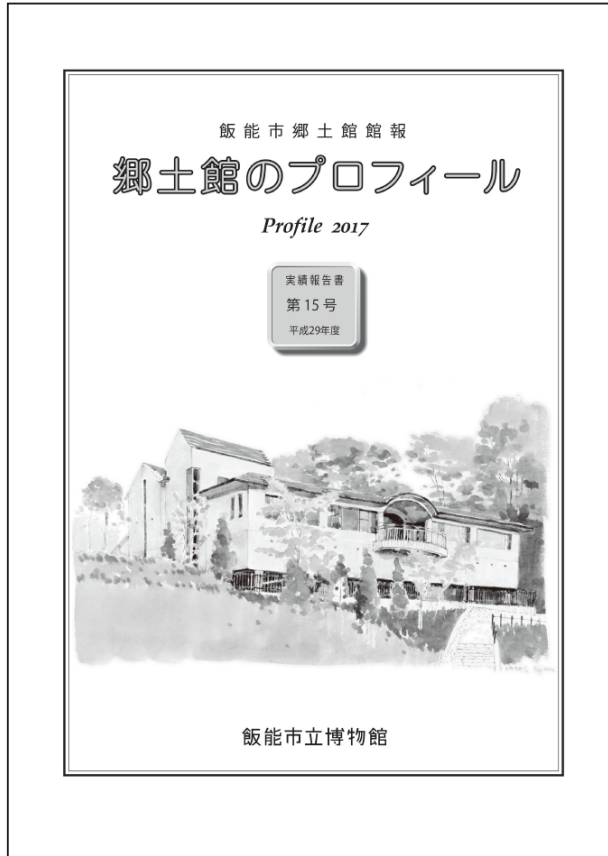


# 『郷土館のプロフィール』第15号

平成31年3月発行、56ページ、700円(税込み)



本号は、リニューアルオープンを行った平成29(2017)年度の実績報告書です。飯能市郷土館の活動を記録した最後の館報となります。

この年は6月から3月まで休館していたため、通常の博物館活動を行っておりません。

それに代わり、常設展示改装の考え方や内容、その経緯などについてページを割いて報告しています。

今後常設展示の改装を検討している博物館のみなさま、ぜひ参考にご覧ください！

## ■館報第15号の主な内容

①新たな常設展示の各コーナー、ゾーンの展示意図と内容を3章にまとめました。

右の図は、リニューアルオープンまでの流れをまとめたものです。あまりに短期間での改装だったので、あまり参考に出来ないかもしれませんが、反面教師として活用してください。

なお、常設展示の実施設計は平成28年度に実施しているため、第14号にその内容をまとめてあります。ただし、在庫がありませんのでご入用希望の方はご相談下さい。

○常設展示改装・名称変更に伴うリニューアルオープンまでの流れ

期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
常設展示改装																			
リニューアルオープン																			
名称変更																			

②当年度に策定した当館ミッションとその解説を掲載しました。→12p

平成30年3月、当館のリニューアルオープンに合わせて策定された当館ミッションを掲載しました。その解説も付けました野で、当館の目指すべき方向をぜひご確認ください。

ミッション(使命)の策定

**飯能市立博物館ミッション(使命)**

博物館は「学びの場」であり、その役割は時代とともに変遷を遂げてきた。その役割は、時代とともに変遷を遂げてきた。その役割は、時代とともに変遷を遂げてきた。

- 飯能の新たな魅力に合わせた博物館をめざします。  
飯能の新たな魅力に合わせた博物館をめざします。飯能の新たな魅力に合わせた博物館をめざします。
- 学びの入口となる博物館をめざします。  
学びの入口となる博物館をめざします。学びの入口となる博物館をめざします。
- 常に広い視野を持って活動し、資料の価値を高めようとする博物館をめざします。  
常に広い視野を持って活動し、資料の価値を高めようとする博物館をめざします。
- 学校教育と連携し、質の高い学びを提供する博物館をめざします。  
学校教育と連携し、質の高い学びを提供する博物館をめざします。
- 歴史や文化を継承し、そして未来へとつなげていく博物館をめざします。  
歴史や文化を継承し、そして未来へとつなげていく博物館をめざします。
- 飯能河原・天願山周辺地域の自然の情報を伝達するための機能もあわせ持つ博物館をめざします。  
飯能河原・天願山周辺地域の自然の情報を伝達するための機能もあわせ持つ博物館をめざします。

2018年3月14日現在

③当館の新たなロゴマークについて、その意味するところを解説しました。→15p



④当館の愛称「きつとす」選定の経緯とその由来についてまとめました。→16p



「きつとす」とは、フィンランド語で「ありがとう」を意味する kiitos (キーツ) をベースに、飯能の自然・歴史及び来館者への感謝を表現したもので、「木と住む」や「木の文化を未来・子どもにトスする(つなげる)」といった意味も込められています。

「きつとす」を考案した加治東小学校1年生(当時)の宇野友梨さんとお母さんの理恵さん。左は大久保市長、右は今井教育長。リニューアルオープン記念式典にて。